

二十七日(日) 散々迷つた末、登山道整備実施した。前の週からこの日は「梅雨入り」の日で雨の予報、登山だけならともかく、作業しなければならない時に、山の中で雨具着用では安全な作業の妨げになる。前日の午後になつて、気象庁の「今後の雨」でも、雨の表示は無くなつた。参加者には中止の連絡していなかつたので、実施だ。参加希望

者集まつた段階で、それそれ出発。□□□がやつとの思いで「見晴らし岩」着いた時□□会長が追いついた。更に僧悟台分岐で作業開始。□□さんが来て「一本松」から下の刈払いやろうと言う事になった。草刈機三台を上げて作業開始。□□は途中で県の天然記念物・福島県の花「八重ハクサンシャクナゲ」の花見付けて、大喜び、作業



13時16分、僧悟台分岐集合

六曲十七曲(田)

# 春の備懶山登山道整備報告

第392号  
発行所  
郡山市喜久田町  
あだたら山の会  
編集部

●編集部連絡先  
二本松市郭内1-5-5  
(22)4245  
渡辺正可



## コバイケイソウ 当たり年



16時35分、無事下山終了

どころで無くなつた。初夏のこの時期は「ウラジロヨウラク」「ハクサンシャク」が山一面に開花し、悪化が予想されたため、早めの下山、午後四時半には全員無事に下山した。

六月十三日朝から晴天  
午後に天候悪化が予想され、早めに行動することにしました。二本松市役所で時集合、二本松駅で最終集合にし、会員四名非会員一名(加入希望者)五名で集合し、土湯巡りで裏磐梯八方台登山口へ。七時二十分到着した辯典で空きは二、三台とすごい人出に早めの行動は正解でした。七時四十分登山開始し出発点から

森林浴を楽しみ、八時二十分に中ノ湯に到着し、九時五十分お花畑を廻り、弘達清水に十時二十分到着しました。途中にはウラジオコウラク・ツマトリソウ・マツバソウ・イワカガミ・キジムシロが丁度見頃を迎えていました。お花畑では磐梯山の固有種バンダイクアガタがあちこちに咲き競争激<sup>アゲル</sup>!。紫でクワダカ虫のとうに角があるのが特徴で、



11時32分 盤梯山頂

小さく地味で、目立たない花です。花畠から展望が良く、裏磐梯山の姿がまじまじと見られ、少し遠回りしても来て良かった。

弘法清水で冷水をたのしみ、山頂へ登山開始をしましたが、人が多く譲り合いを何度もする事になりました。十一時山頂へ到着するところ、虫・虫…。それでも十一時三十分まで昼食を楽しみ下山をしました。

山頂では霧がかかり、時々展望が楽しめる程度でした。弘法清水に十二時、登山口に二時に、帰り道の駅を廻り、二本松に四時着となりました。

今回の山行では、特に感じたのは、過去の経験コースの体力を充分に判断し、コース選定、予定時間の設定に留意する必要があると思いました。参加者もひとりが自分の体力を冷静に判断する事も大切でないでしょうか。



バンダイクワガタ

写真は別ページにも

五月二十三日(日)

報告  
□□□



11時58分 萬歲舉山山頂

た二人組シャンシャン押して貰くれるというので押して貰つた。別の一人から、「あだたら山の会の方ですか」と声掛けられた。吾妻山の会の会員らしい、帽子見て判つたといふ。結構若い人だ。下山は、三方境から、大日如来岩経過とする。まずは急な下り、平らになつて、大きな岩がある。正面に廻ると、大日如来様の顔が彫り込んである。大日如来様に似合はず、にこやかなお顔だ。昔はこの萬葉樂山も小坂峠を歩いて登つたので、大変苦労する山だったので、大日様のお顔見て、安らかな気分になる人も多かつたろう。そこでこのやさしい大日様のお顔見て、安ら

近くに一本生大神咒との咒文書いたカンバンも、あちこちにあった。「南無大師遍照金剛、南無萬歳樂山大權現」とあるので、真言宗系の修験者様がお参りしているらしい。アオハダの黄緑色の花、クロモジの花も見付けた。十一時三十八分第二展望台。登っても何も見えず。途中皮が残に剥がされた木を発見。根元に傷が沢山。口さん熊の爪痕だという。十一時五十二分、第一展望台、三角点、八九八尺。石祠がある中に弘法大師、石碑があり、平成二年十月の建立らしい。と言う事は前回来たときもあったか。写真見てみたらあった。ここで写真撮らうとしたら居合わせ

次に万蔵稻荷に向かう。先ず登って来た道を下がり、半田沼の上で左折し、小坂宿に向かう。宿を抜けた羽州街道（羽後の国への道、秋田道）を大きな鳥居潜って小坂峠に向かう。峠の山頂付近には、今は営業していないが福島盆地・靈山の眺めが素晴らしい「食堂・ドライブイン」があり、□□さんはラーメン食べたことがあるらしい。やがて万蔵稻荷、駐車場から赤鳥

A group of approximately 15 people, mostly men, are standing in a row on a snow-covered path in a forest. They are dressed in winter clothing, including jackets, hats, and some with backpacks. A white rectangular sign is held up behind them, though its text is not legible. The background consists of tall evergreen trees with snow on their branches.

前回の写真、沢山いたなー、2010年12月4日



絵馬「近江のお菴」 二本松町の夫人 6名泰納

判ったといふ。結構若い人だ。下山は、三方境から、大日如来峯経過とする。まずは急な下り、平らになつて、大きな岩がある。正面に廻ると、大日如来様の顔が彌り込んである。大日如来様に似合はず、にこやかなお顔だ。昔はこの萬歳塚山も小坂峠を歩いて登つたので、大変苦労する山だったろう、そこでこのやさしい大日様のお顔見て、安らかな気分になる人も多かつた。

う。二本松の人が上げた鳥居も二つ見付けた。お参りの人も多い、先程萬歳楽山頂でシャッター押しして貰った宮城県の若い人達もいた。お堂に入って、絵馬を確認する、向かって左に「近江のお兼」の絵馬がある、二本松の人が上げたもので、絵師も二本松の太田霞岳だ。実は「近江のお兼」をネットで調べた資料持参して来た。お堂の中の女性

は声掛けでちよこと話し、たら、宮司呼びますから、と言つて奥に入った。やがて平服の宮司さんが出てきて、ちょっと話した。「近江のお兼」の絵馬、別の女神様の事だと言われて来たらしい。とても喜んで頂いた。写真撮りたいと言つた。邪魔になつていた幕も外してくれた。表面だけだが全体取る事が出来た。正面須彌壇の提灯見たら「二本松市郭内阿部石材」の名が、私の住まいも郭内だと言つたら、今日阿部石屋さん奉仕作業の日なので来ているという、更に、お堂の中の提灯全部二本松の浅倉提灯屋さんだという。そんな話していたら□□さんが戸細

「阿部石屋さん來てある」と話していたら、□□さんに知り合いだという。お参りの人いる辺り歩いていたら、□□さん阿部石屋さんと出会つて喜んで話し始めた。息子さんで今は白石仕まいだという。なんと言ふことだ、万蔵稻荷様、一本松と深い縁有るようだ。駐車場に戻る途中、自居列の中でコスプレ互き揚げて、車の間で走る人をもいた、お客さん結構多い。因みに郭内菅原神社境内にも石碑があるのだ。その後は小坂峠近くの道つて藤田総合病院近くの道の駅「国見あつかしの郷」で休憩、二本松に戻つた。





15時2分、無事下山



小屋で出して貰った

五月二十六日

会報  
写真帳



10時28分、弘法清水小屋



8時20分、イオウゴケ、中の湯跡近く

六月十三日

六月山行・磐梯山



14時52分、僧悟台、見晴らし岩での作業



13時39分、中の湯跡、下山時

六月二十七日

僧悟台登山道整備



口口会長の草刈



口口さんの草刈

編集後記  
三九二号

◆梅雨になりました、実施するかしないか、ギリギリの判断になると思います。

◆今年花の咲方、雨の降り

◆方違つてきました。登山道も変わってしまったかも。も変わつてしまつたかも。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。